



くすの木



6月の生活目標：「きまりを守って安全に過ごそう」

平成28年度No. 5（文責：徳弘）

四万十市立具同小学校（TEL:37-3249）

暦は6月へ。早いもので、一学期も後半に入りました。学校前を流れる井上川沿いのアジサイが、色鮮やかに咲き揃ってきました。景色が夏に変わってきています。

生命と安全を守るために —地震と大津波の避難訓練—

壮絶だったあの東日本大震災が起きてはや5年が経過しました。M9.1という想像もできない大きな規模の地震と、まるで映画かCG画像をみるような大津波による災害から、少しずつまちや人が復興・復活していく報道を数多く見聞きするようになり、東北人らしいたくましさや心からの敬意と賛辞を感じていました。

その矢先、今度は九州熊本・大分で、またまた地震の怖さや恐ろしさを実感する災害が起こりました。人間の力を超越した自然の力のすごさと、近い将来必ず来ると言われる“南海トラフ大地震への備え”の必要性を改めて思い知らされました。

南海トラフ大地震が想定される高知県内の公立学校には、東日本大震災以降、地震が起き、津波の発生が想定される場合の避難の経路や方法について、訓練を通して指導するよう高知県教育委員会からの働きかけがあります。

本校では、新入生を迎えたこの時期、生命や安全を守る意識やスキルを早く学校全体のもの、子ども達のものにする取組をしています。今年、4月13日（水）に地区別児童会を開き、**地区毎に登下校の安全や通学路の確認**をしました。その後、体育館に全校児童が集まり、**地震や台風等の災害時、不審者等を含めて危険想定時などに安全に下校する方法として集団下校**を実施しました。

続いて、5月20日（金）に、**地震が起こった場合の避難**とその後**に大津波が来ることを想定した避難の訓練**を行いました。

先生の指示をよく聞いて、みんなで素早く安全に…

1年生と6年生が階段の右左を安全に通い分けて…



だれ一人勝手な行動をとる子がいません!



1年生は6年生と
2年生は5年生と
手をつなぎ 仲よく
かしこく はげまし
合って移動します



安全な歩道を より
安全な自由が丘に
向かって歩きます

子ども達は、本校の避難時の約束ごと「**おさない はしらない しゃべらない(しずかに) もどらない ちかよらない**」(おはしもち)を守り、先生の指示と誘導に従って、各教室からより安全な経路を通って校庭に避難しました。みな真剣な表情で、冷静に素早く行動できました。

校庭で全員の安全を確認後、大きな津波が来る際の二次避難場所、自由が丘東公園に移動する訓練を行いました。励まし合い、助け合って、生命と安全を守る心やスキルを育てるため、本校では6年生は1年生と、5年生は2年生と手をつないで、3・4年生は自分達で移動します。交通安全にも気をつけ、整然と移動しました。

無事に全員が集まった自由が丘東公園では、私(校長)から、初めての1年生も、何度も経験している上級生も、とても落ち着いて素早く安全に移動できたこと、集まった時の話を聞く姿勢、集中する態度の成長をほめました。授業中の態度、学校生活のルールやマナーを守る態度がよくなってきたことが、年々訓練の態度のよさにつながってきています。続いて、甚大な被害と多数の死者をもたらした阪神淡路大震災(1995:平成7年)、東日本大震災(2011:平成23年)、そして熊本地震(2016:平成28年)から学ぶことを、写真(下参照)を見せながら話しました。

「災害はいつ起こるかわかりません」—いざという時にどう行動するか、学校でも、家庭でも、地域でも、よく学び、よく話し合い、よく練習して備えましょう。



信じられない自然の力のすごさ
揺れから身を守る! 火も消す!



一度だけでなく 激しく長く続く地震
いざという時には
みんなで助け合い 励まし合って!



大津波は 町を人を飲み込む
とにかく 高く安全な場所へ!



探究的な授業づくり研究発表会 ～第1弾 理科～

昨年度から、さまざまな場や機会を通して、本校が中村西中学校と共に県下唯一の小中連携型指定校として取り組んでいる「探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業」〔高知県教育委員会〕のことはご紹介させていただいております。

3年間指定の2年目を迎えた今年度は、研修や研究を積んだ昨年度の成果と実績をもとに、計3回の「第2年次研究発表会」を開く予定とし、このたび5月24日（火）に、第1弾として「教科教育：理科」の授業公開と研究協議を行いました。

授業では、CST：コア・サイエンス・ティーチャー（高知大学と高知県教育委員会が連携して育成・活用する地域の核となる理科教員）である濱口洋人主幹教諭が、6年1組の子ども達と「体のつくりとはたらき」の授業を行いました。



子ども達も真剣
先生方も真剣



自分の手で 目で
実験・観察 記録

さて だ液の働きは…？

授業は、子ども達の気づきや疑問、課題意識を引き出し生かしながら、理科授業の一番の魅力である実験や観察を通して、科学の不思議さや面白さ、科学的な見方や思考力・表現力を育てるべく、子ども主体のアクティブ・ラーニング（自主的・協働的な学習）を意識しながら展開していきました。子ども達にとって、食べ物の消化や吸収は、無意識の日常行動であり、一つ一つの問いや学習活動に、これまでの知識や純粋な考えや疑問をもって活発に反応し、サブテーマ“人が生きていける秘密を解き明かそう”の通り、参観していても興味深く授業が展開していきました。

参会の先生方は、本校教員を含む小学校教員に加えて、理科を担当する中学校の先生方、高知県・四万十市教育委員会の先生方も多く集まり、授業や研究協議の会場となった理科室は、研究会らしい活気のある雰囲気になりました。（以下感想）

- 子どもが主体的に取り組めるように、子どもの疑問から授業に入っていく点が参考になりました。
- 子どもとのやりとりから切り返しをし、課題に向かわせる点が素晴らしい。常に小中連携を大切にしましょう！
- 疑問を大切にする授業で、発言が自由に出され、ノート指導の素晴らしさとスピード感があり、感動しました。

今回は、6月28日（火）に、同じく教科教育で国語科と算数科について各学年1授業の計6授業を公開して行う予定です。質のよい授業により、子ども達に基礎基本となる知識・理解・技能＝“わかりできる力”（習得学力）を育て、今、求められている思考力・判断力・表現力＝“考え、整理し、話したり書いたりする力”（活用学力）や、“もっと深く詳しく知りたい・学びたいという意欲と問題を解決する力”（探究学力）をつけるべく、研究と実践を深めていきたいと考えています。



● 7月の行事予定 ●



児童会月目標			時間を守って行動しよう	
日	曜	朝会	学校行事等	授業予定
1	金	掃除	PTA交通指導 宿泊学習(5年)	〇〇〇〇〇〇班
2	土			
3	日		高知県小中学校 PTA 研究大会	
4	月	児童	児童会役員選挙告示 カヌー体験(6年) 水泳教室(1・3年) 家庭学習パワーアップタイム	〇〇〇〇〇〇
5	火	読書	交通安全指導 新掃除場所 水泳教室(2・5年)	〇〇〇〇〇〇
6	水	読聞	読聞せ(保護者) 防犯教室(2・4年) 職員会(15:30~)	〇〇〇〇〇委
7	木	音楽	水泳教室(4・6年)	〇〇〇〇〇〇
8	金	読書	SC 来校 着衣水泳(1~4・6年) ワックス清掃	〇〇〇〇〇学
9	土		個人面談(8:30~16:45)	
10	日		幡多地区PTA・教育行政研修会(宿毛市文教センター)	
11	月	児童	PTA交通指導 図書返本期間(~14日)	〇〇〇〇〇〇
12	火	読書	カヌー体験予備日 PTA執行部会(19:00~)	〇〇〇〇〇〇
13	水	保健	地区児童会⑤集団下校 校内研究(15:30~)	〇〇〇〇〇
14	木	音楽	着衣水泳(5年)	〇〇〇〇〇〇
15	金	読書	わたり会見守り交通指導 児童会選挙① ワックス予備日	児〇〇〇〇〇
16	土			
17	日			
18	月		海の日	
19	火	読書	夏休みの本の貸出(~20日)	〇〇〇〇〇〇
20	水	読書	交通安全指導 大掃除 終業式⑤ 職員会(15:40~)	〇〇〇〇学〇
21	木	夏季休業・水泳特別練習・鼓笛隊・プール監視開始		
22	金	幡多国語セミナー	ラジオ体操(前半:7月21日~27日)	
23	土			
24	日			
25	月			
26	火	校内研修(午後)		
27	水	幡多算数セミナー		
28	木	校内研修(午後)		
29	金	四万十市人権教育研究大会		
30	土	しまんと市民祭(なかむら踊り・提灯台パレード)		
31	日			

〔備考〕 SC…スクールカウンセラー 学…学校行事 ク…クラブ活動 委…委員会活動 代…代表委員会 班…班長会

★7月9日(土)は個人面談(全保護者)です。面談時間設定にご協力をお願いします。

◆四万十市・三原村水泳記録会(5・6年参加):8月9日(火)〔安並プール〕

◆全校登校日:8月5日(金) ◆第2学期始業式:9月1日(木)

